まちむら発見①

母親の居場所（地域コミュニティ）から実現する4つの幸福

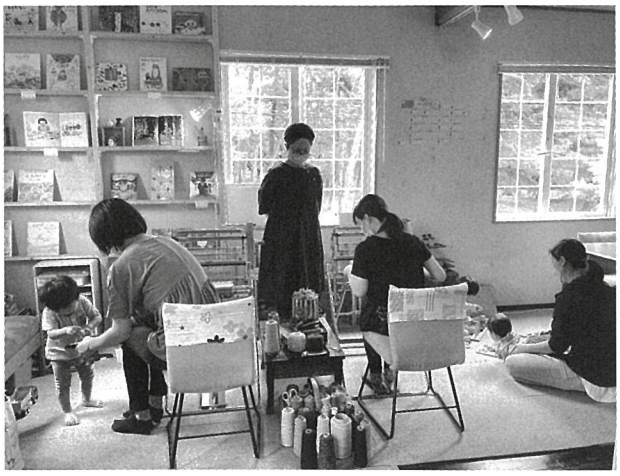
群馬県前橋市　特定非営利活動法人 Mam's Style

■マムズスタイルのミッション

母親の自立支援をミッションとして、会員24名で構成。子どもや母親が安心して遊び交流できる居場所（コミュニティ）「子育てと仕事楽しむママの家」を2019年前橋市青梨子町の古民家でオープンした。その後前橋市敷島町に2021年移転オープンして現在に至る。

子育ての孤立は年々加速しており、「子どもを遊ばせながら立ち話ができる」と回答した母親は2002年81％いたが、2014年47・5％、2020年30・5％を示すデータもあり、母親の孤立化や関係性が希薄化してきていると実感している。

そうしたなかで母親相互がやりとりする子ども服の「おさがり」に注目し、地域資源としての古着のサイクル（循環）に取り組むのを手段として、物を通じて居場所（コミュニティ）／母親／（就労含む）困窮家庭支援へとその力を転換している。育児の繋がりや多様な働き方、考え方に触れていくことで母親自身が考えを深め、自立した女性（母親）の未来を創ることができると考えている。



織物

古着リメイク

■マムズスタイルが居場所を中心に取り組む4つの幸福

古着の「おさがり」という友人知人間で主に行われた昔ながらの母親文化が、先述の母親の孤立化や個々の関係性の希薄化のなかで、友人知人間によらないダイナミックなネットワークを必要としている。それは物と物を単純に受け渡すだけではない。

マムズスタイルの事業の仕組みは、①誰でもいつでも物で参加でき、②物が集まることで人のコミュニティが形成され、③物と人があることで仕事が生まれ、④多様な子育てや仕事の経験が母親の自立へと繋がる。それぞれの相関関係はマムズスタイルの内部だけで成立せず、外部を必要としている。

血液が体の巡りに重要な役割を果たすように、内部であ

る私たちNPO（または地域）には人の巡りが重要で、企業にはお金の巡り、物には使われる巡りがある。それぞれにあった巡りに物や人を乗せていくことで、マムズスタイルが目指す自立した女性（母親）の道が開けていく。

古着リユースは企業間、個人間など様々な形態で日常になってきた。それは「サステナビリティ」と表現されることもある。マムズスタイルの価値観は持続可能性（サステナビリティ）のその先、再生（リジェネレーション）にある。

持続可能な未来を現在の私たちが残していくという意味の「サステナビリティ」は、現状を維持し失われたものの再生と繁栄には至っていない。そこで再生を意味する「リジェネレーション」にマムズスタイルは注目している。人の動きを止めることなく、人が動くことでむしろ自然環境がより良くなる。人と自然のウェルビーイングな関係を最も目指すべき姿としている。

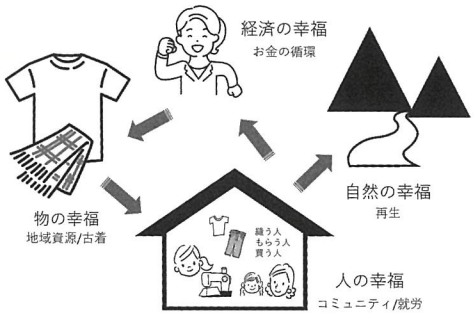
■令和3年度の取組と成果

人と物の幸福「居場所（コミュニティ）／就労」「地域資源／古着リユース」

マムズスタイルの中心事業は「居場所（コミュニティ）」にある。令和3年度はのべ約500名の親子が利用し、寄付者は150名だった。時間や経済的にゆとりのある方から、自立を目指すシングル家庭まで利用層は幅広い。ゆとりある家庭にとってはリフレッシュしながら社会貢献できる居場所（コミュニティ）であり、低所得家庭にあってはセーフティネットの役割と就労のアセスメントを受けられる場となっている。

令和2～3年にかけて3名の低所得家庭が縫製の就労を行った。1年後には、一般就労へ移行や夫の収入が安定し

就労支援



地域コミュニティから広がる4つの幸福

居場所

本人は自営業へ移行、別居中の夫から生活費支給となり、マムズスタイルの就労を終えることができた。（現在は2名のシングル、障害のある母親が縫製就労中）

この1年で分かったのは、就労で「変われる」チャンスを母親本人が受け止め、実行に移せるか。ひっ迫した状況が時間の経過の中で解決されていくものもあるが、DVや多重債務、ヤングケアラー、障害、不登校など一人でいくつも問題を抱えているケースは尽きることがないということだった。しかし私たちは支援の手を止めることなく、地域で物を集めて地域コミュニティと弱者を支える仕組みをより強くして4つの幸福を作っていく。

再生（リジェネレーション）は今後ますます注目されていくと感じている。生産のなかで失われた自然環境が、今ある物をリユースやシェアすることで負荷が減って蘇り、私たちの失われつつあるコミュニティがここでまた新しく生み出されていく。連携や協働提案が様々な場所で多くなってきているのも、企業やNPOそれぞれの形態の特徴を組み合わせて、よりよい未来を作りたいという表れに他ならない。より多くの母親の意識や社会的状況が変わっていき、今そして未来に向かって女性が生きやすいと実感できるようでありたい。

（特定非営利活動法人Mam`s Style　理事長　櫻井弥生）